

科 目 名	栽培と環境	単 位 数	3 単位	学 科 ・ 学 年	農 業 総 合 科	3 年
使用教科書	栽培と環境	実教出版	副 教 材 等	プリント		
学 習 目 標	農業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うなど通して、栽培植物の育成環境の調整・管理に必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1)栽培と環境について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。 (2)栽培と環境に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。 (3)栽培と環境について農業生物の栽培や管理に応用できるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。					
学 習 評 価	○ 次の三つの観点に基づき、学習内容のまとまり（定期考査までを学習のひとまとまり）ごとに下の評価規準により評価を行い、学年末に5段階の評定に総括する。					
	①知識・技能	栽培と環境について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けている。				
	②思考力・判断力・表現力	栽培と環境に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。				
	③主体的に学習に取り組む態度	栽培と環境について農業生物の栽培や管理に応用できるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養おうとしている。				
		評価方法\観点	①	②	③	
		学習状況観察	○	◎	◎	自己評価の実施
		プリント教材	—	○	○	補助プリント
		レポート	◎	○	◎	
ペーパーテスト		◎	○	—	確認テスト・定期考査	
※表中の◎は観点の中でより重視するところです。						
履 修 上 の 注 意	・作物、野菜、果樹、草花などの科目と関連付けながら、科目全体で科学的かつ創造的に学習を進めること。					

学期	月	学 習 内 容	時 数	学 習 の ね ら い	学 習 活 動 (評 価 方 法)
1 学 期	4	栽培と環境の診断・実験の方法 (1) 調査と観察	12	・栽培環境の要素に関する各種の調査、観察、診断、実験と検証の方法や手順を理解して実践できるようにします。	【学習状況観察】 【自己評価】 【ワークシート】 【1学期中間考査】 【小テスト】 【レポート】
	5	(2) 生育と環境の診断 (3) 実験と検証 中間考査	10 1		
	6	栽培植物と環境要素 (1) 環境の要素	12	・栽培植物の育成と環境要素との総合関係について理解できるようにします。	【学習状況観察】 【自己評価】 【ワークシート】 【1学期期末考査】 【小テスト】 【レポート】
	7	期末考査	1	・タブレットを使い、環境データの分析を行います。	
	9	(2) 物質の循環 (3) 栽培技術と環境	12	・栽培植物と環境要素の関係について理解するとともに、関連する技術を身に付けます。	【学習状況観察】 【自己評価】 【ワークシート】 【2学期中間考査】 【小テスト】 【レポート】
	10	栽培植物の育成環境 (1) 気象と災害対策 中間考査	6 1	・環境要素の調節、管理と改善について理解します。	
2 学 期	11	(2) 土壌の管理と改良 (3) 肥料の性質と施肥の方法 (4) 農業の特性と防除の方法 (5) 施設型農業の栽培環境	7 6 6	・栽培技術的な対策や気候変動について取り上げ、災害対策について考察する学習活動を取り入れます。	【学習状況観察】 【自己評価】 【ワークシート】 【2学期期末考査】 【小テスト】 【発表】
	12	期末考査	1		
3 学 期	1	(4) 農業の特性と防除の方法 (5) 施設型農業の栽培環境	16	・GAPについて取り上げ、土壌の適切な管理と改良に取り組む学習を取り入れます。	【学習状況観察】 【自己評価】 【ワークシート】 【学年末考査】 【小テスト】 【発表】 【レポート】
	2	環境に配慮した栽培の実践 学年末考査	13 1	・化学肥料や農薬の使用などによる環境への負荷を軽減する持続可能な栽培植物の育成や、環境の補正について理解できるようにする。	
		合計時間数	105		